

平成20年8月14日

各 位

上場会社名 株式会社 J-オイルミルズ
 代表者 代表取締役社長 佐々木 晨二
 (コード番号 2613)
 問合せ先責任者 執行役員経理部長 立見 健一
 (TEL 03-5148-7100)

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成20年5月15日に公表した業績予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

(金額の単位:百万円)

平成21年3月期第2四半期連結累計期間連結業績予想数値の修正(平成20年4月1日～平成20年9月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	112,700	3,200	3,100	1,900	11.36
今回発表予想(B)	116,000	5,000	4,900	2,700	16.16
増減額(B-A)	3,300	1,800	1,800	800	——
増減率(%)	2.9	56.3	58.1	42.1	——
(ご参考)前期第2四半期実績 (平成20年3月期第2四半期)	89,608	1,995	2,744	1,824	10.91

平成21年3月期第2四半期累計期間個別業績予想数値の修正(平成20年4月1日～平成20年9月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	108,500	2,600	2,700	1,800	10.77
今回発表予想(B)	111,600	3,800	3,900	2,400	14.36
増減額(B-A)	3,100	1,200	1,200	600	——
増減率(%)	2.9	46.2	44.4	33.3	——
(ご参考)前期第2四半期実績 (平成20年3月期第2四半期)	84,132	1,494	1,700	1,021	6.11

修正の理由

第1四半期は、主原料の大豆及び菜種の国際相場が一方向的に上昇したことや、原油価格のより一層の高騰から、前期に引き続き大幅なコスト上昇となりました。これに対し当社は、原材料の調達から、生産、物流、販売、管理の各部門において間断なくコストダウンに取り組み、また、上昇した原料コストに見合った製品価格の適正化を懸命に推進するとともに、「長く使える」という機能を付加した業務用汎用油「長調得徳」など、現在の経済環境や、お客様のニーズに合致した付加価値商品の拡販に取り組み、成果をあげることが出来ました。また、前期末に原料在庫に対する評価減を9億36百万円計上したことも、当期の売上原価低下に大いに寄与いたしました。

第2四半期につきましても、現在大豆及び菜種の国際相場は短期的に調整局面に入っていますが、依然として前年同期を大幅に上回る記録の水準にあることに変わりなく、非常に厳しい事業環境が続いています。当社といたしましては、原料コストに見合った製品価格の適正化や、お客様のニーズに合った商品の開発・拡販、更なるコストダウンに引き続き注力してまいります。

以上の結果、平成21年3月期の第2四半期累計期間の業績予想は当初予想を上回る見通しとなり、上記のように修正させていただきます。

なお、通期の業績予想につきましては、原料相場、為替相場、油脂・油糧における需要動向など業績に影響を与える要因に不透明感が強く、現時点において修正はございません。

※上記の予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報にもとづき作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって予想値と異なる場合があります。

以 上